

New Crown 第13回 Lessons

Lesson 13-1 : 一般動詞の過去形の疑問文

一般動詞の過去形の疑問文は、現在形の疑問文と形が似ています。なぜなら、

Do / Does の代わりに **Did** を使うだけだから

です。つまり、基本の形は以下ようになります。

【一般動詞の過去形 疑問文：基本の形】

Did + 主語 + 一般動詞の原形 + ~?

(「主語」は～しましたか)

<例> Did you have a test yesterday? (あなたは昨日テストがあったのですか)

Did Asako come here last week? (アサコは先週ここに来たのですか)

【一般動詞の過去形 疑問文：作り方】

ステップ1：一般動詞の過去形の**肯定文**を作る。

ステップ2：文の先頭に **Did** を足し、最後を **?** にする。

ステップ3：一般動詞を**原形**に戻す。

<例1：あなたは昨日テストがあったのですか>

ステップ1：一般動詞の過去形の肯定文を作る。→ 「あなたは昨日テストがありました」

You had a test yesterday.

ステップ2：文の先頭に **Did** を足し、最後を **?** にする。

Did you had a test yesterday?

ステップ3：一般動詞を原形に戻す。

Did you have a test yesterday?

<例2：アサコは先週ここに来たのですか>

ステップ1：一般動詞の過去形の肯定文を作る。→ 「アサコは先週ここに来ました」

Asako came here last week.

ステップ 2 : 文の先頭に **Did** を足し、最後を ? にする。

Did Asako came here last week?

ステップ 3 : 一般動詞を原形に戻す。

Did Asako come here last week?

【疑問文の答え方】

答え方は、基本的に Yes / No の 2 種類。

Yes, 代名詞 did.

No, 代名詞 *didn't.

Did ~? でなので、**did** で答える。

do / does で答えないように注意。

<例> **Did** you have a test?

Yes, I **do**. =×

* didn't 使うのが一般的だが、did not と分けることも可。

<例 1>

Did you have a test yesterday? (あなたは昨日テストがあったのですか)

はい → Yes, I did.

いいえ → No, I didn't. (No, I did not.)

<例 2>

Did Asako come here last week? (アサコは先週ここに来たのですか)

はい → Yes, she did.

いいえ → No, she didn't. (No, she did not.)

そして、過去形の疑問文に Why / Where などの疑問詞を足す場合は、いつも通り、Did ~? の前に疑問詞を足してあげれば完成です！

【疑問詞を使った疑問文：基本の形】

疑問詞 + 疑問文？

<例> What did they eat? (彼らは何を食べたのですか)

Where did you go? — I went to Asakusa, Tokyo.

(あなたはどこに行ったのですか — 私は東京にある浅草に行きました)

【ポイント！】

「東京の浅草」のように「〇〇の中の△△」という場合、Asakusa, Tokyo のように、「〇〇, △△」という表現が使われる。△△の方が、規模が大きいので注意。また、Tokyo, Japan のように、「都道府県、国」とすることも可能。

<例> I live in Fukuoka, Japan. (私は日本の福岡に住んでいます)

【疑問詞を使った疑問文の作り方】

ステップ 1: 疑問詞の部分 (何・どこ) に同じ種類の「**適当な単語**」を入れて疑問文を作る。

ステップ 2: 入れた「**適当な単語**」を **疑問詞に戻す**。

ステップ 3: 疑問詞を**文の先頭に持ってくる**。

<例：彼らは何を食べたのですか>

ステップ 1: 疑問詞の部分 (何) に同じ種類の「**適当な単語**」を入れて疑問文を作る。

「何」の部分「寿司」に変える → 「彼らは寿司を食べたのですか」

_____ Did they eat sushi?

ステップ 2: 入れた「**適当な単語**」を疑問詞 (**what**) に戻す。 sushi → what に戻す。

_____ Did they eat what?

ステップ 3: 疑問詞を文の先頭に持ってくる。

_____ What did they eat?

Lesson 13-2: 前置詞を伴うフレーズ①

1. inside ~ = ~の内部に・で / ~の内側で

<例> I want to see inside the house. <私は家の内側を見たいです>

〔補足説明〕

文によっては、in と同じように使うことができる。

<例> We are in the house. = We are inside the house. (私たちは家の中にいます)

inside は、基本的に建物 / 箱 の内側といった「(壁など物理的なもので) 境がはっきりしている場所の内側」を指すのに対し、in は物理的なもので境があるものだけでなく、境がはっきり示されていないものにもよく使われる (例 : in Tokyo / in this movie / in March) 。

2. With ~, 文 = ~とともに、文 / ~で、文 / ~もあり、文

<例> With this computer, I can work from home and study English.

<このパソコンで、私は家から働くことや英語の勉強をすることができます>

[補足説明]

With ~ の部分を強調したり、文全体を修飾したりする際に使われる。

<例> With this computer, I can work from home and study English.

(「このパソコン」が、「家から働くこと」と「英語を勉強すること」の両方にかかっている)

I can work from home and study English with this computer.

(「このパソコン」が「家から働くこと」にかかっているかは不明。「ただ家から働くことが許されていて、このパソコンを使うと英語を勉強することができる」という意味かもしれない)

3. start with ~ = ~で始める / ~から始める

<例> I want to start with this question. <私はこの質問から始めたいです>

[補足説明]

「~から始める」という意味としては、start from ~ という表現もある。start with / start from は、似たような意味で使われるが、start with ~ は、「ここがスタートする場所 (ただ、場所を示している)」という意味を表すのに対し、start from ~ は「ここからスタートし、先に進む」というニュアンスが含まれることがある。

4. pray for ~ = ~のために祈る / ~を祈る

<例> I pray for you every day. <私は毎日あなたのために祈っています>

Lesson 13-3: 様々なフレーズ⑭

1. 名詞 + here / there = ここの名詞 / あそこの (そこの) 名詞

<例> I don't know about people here. <この人たちのことを私は知りません>

[補足説明]

What's the date today? は、日付をたずねる言い方。What day is it today? とすると、曜日をたずねる言い方なので注意。また、日付は July 5 と書いたりするが、読むときは July fifth と「日」は、序数 (first, second, third, など) となるので注意。答える時は、主に it が主語に使われ、日にち自体を答えているので、on は入らない(「~日に」という場合は、on が入る)。

2. ○○ and I = ○○と私

<例> My family and I went to Shizuoka. <私の家族と私は、静岡に行きました>

[補足説明]

「誰かと私」という場合、通常 I は後に来る。そのため、I and ○○ という表現 (例: I and my family went to Shizuoka.) は、基本的に使われないので注意。

3. touch ○○'s heart = ○○の心を動かす / ○○を感動させる

<例> His words touched my heart. <彼の言葉は私の心を動かしました>

4. we all ○○ = 私たち全員○○する

they all ○○ = 彼(女)ら全員○○する / それら全部○○する (○○には、一般動詞が入る)

<例> We all need some water. <私たち全員、いくらかの水が必要です>

[補足説明]

be 動詞の文で「私たち全員」「彼ら全員」と言いたい場合は、代名詞+be 動詞+all の形になるので注意。

<例> We are all tired. <私たち全員疲れています>

また、we / they といった人称代名詞以外に all が付く場合は、all ○○ / all of the ○○ といった形が主に使われる。

<例> All children were happy. <すべての子どもたちは、幸せでした>

All of the computers are old. <すべてのパソコンは、古いです>

Lesson 13-4 : 前置詞を伴うフレーズ②

1. famous (for ~) = (~で) 有名

<例> He is famous for his books. <彼は彼の本で有名です>

2. good (~) for ○○ = ○○には良い (~) / ○○にとって良い (~)

<例> That shrine was a good place for me. <あの神社は私には、良い場所でした>

A: I walk every morning. B: That's good for you.

<A: 私は毎朝歩きます。 B: それはあなたには良いことです>

3. in charge of ~ = ~の担当 / ~の責任者

<例> Are you in charge of this company? <あなたは、この会社の責任者ですか>

4. a kind of ○○ = ○○の一種

<例> Soccer is a kind of sport. <サッカーは、スポーツの一種です>

〔補足説明〕

a kind of ○○ の○○に入るのは、可算名詞の単数形の場合 a/an は省略されるので注意。
また、kind が kinds と複数形になる場合は、○○も複数形になる。

<例> Soccer is a kind of a sport. = ×

Soccer and baseball are kinds of sports.

5. my best memory of ○○ = ○○の（私の）一番の思い出

<例> That is my best memory of the summer. <それが夏の一番の思い出です>

〔補足説明〕

my best は「私の一番（の）」という意味で、memory は「思い出」という意味。of ~ は「～の」という意味。

<例> the number of your classroom （あなたの教室の番号）

Lesson 13-5: 様々なフレーズ⑮

1. ○○ said, “文” = ○○は「文」と言いました

<例> I said, “Come here.” <私は「こっちに来て」と言いました>

〔補足説明〕

said の後にカンマが打たれるのがポイント。また、“ ”（引用符 / クォーテーションマーク）は、日本語でいう「 」の役割を果たし、“ ”の中の文のピリオドは、“ ”の内側に打たれる。同様の意味で “文,” ○○ said. という表現もよく使われる。

<例> “Come here,” I said.

5. **try ~ing = (試しに) ~にしてみる / (試しに) ~に挑戦する**

<例> I tried driving that car. <私は試しにあの車を運転しました>

[補足説明]

like / enjoy / try などの一般動詞の後に、一般動詞 ing (一般動詞すること) が足される
ことがよくある。

<例> I like playing the guitar. (私は、ギターを弾くことが好きです)

We enjoyed *shopping last week. (私たちは、先週買い物を楽しみました)

*shop は「買い物する」という一般動詞。それに ing がつくことで「shopping (ショッピング) =
買い物すること / 買い物」となる。

6. **~ ago = ~前に**

<例> I went to London two days ago. <私はロンドンに2日前に行きました>

Lesson 13-6 : 道案内で使われるフレーズ

1. **How can I get to ~? = 私はどうすれば ~ に着けるのですか**

<例> How can I get to the station? <私は、どうすれば駅に着けるのですか>

[補足説明]

行きたい場所までの道のりをたずねる時によく使われる表現。“How + can の疑問文?”
の形となっている。また、get は「手に入れる」という意味だけでなく「(～に) 到着する /
着く」という意味もある。また、can I の代わりに、did they といった違う疑問文の形や、to ~
の代わりに here / there が使われる場合もある。

<例> How did they get there? <彼らは、どのようにしてそこに着いたのですか>

2. **Go straight (on this / that street) = (この / あの通りを) まっすぐ行く**

<例> We can't go straight on this street. <私たちは、この通りをまっすぐ行くことができません>

[補足説明]

straight は、副詞なので go to straight とはならないので注意。また、go straight here / there と
いうことも可。on this / that street は、通りの「上」に行くというイメージなので、前置詞は
on が使われる。

3. turn right (at the ○○th corner) = (○○番目の角を) 右に曲がる

turn left (at the ○○th corner) = (○○番目の角を) 左に曲がる

<例> Go straight here, and turn right at the second corner.

<ここを真っすぐ行き、2番目の角を右に曲がります>

〔補足説明〕

○○には、序数 (first, second, third, など) が入る。また、序数だけでなく next も入れることができる。「ここから、最初 (first)、2番目 (second)、3番目 (third)、または次 (next)」と限定されているため、the がつく。

<例> Turn right at the next corner. <次の角を右に曲がって>

また、and を使って文と文をつなぐ場合「文, and 文」となる (通常カンマが必要)。

<例> Turn right at the next corner, and go straight.

<次の角を右に曲がって、真っすぐ行きます>

4. on your right / left = あなたの右側に / 左側に

<例> That restaurant is on your right. <あのレストランは、あなたの右側にあります>

5. next to ~ = ～の隣

<例> Can I sit next to you? <あなたの隣に座ってもいいですか>